

広島県とASEAN加盟国の小学校と高等学校による
日ASEANオンラインシンポジウム「Marine Plastic Education Symposium(海プラごみ教育)」を
2022年2月2日に開催

国際機関日本アセアンセンター(所在地:東京都港区、事務総長:平林国彦 以下、センター)は、広島県とASEAN¹加盟国の小学校と高等学校の生徒が、海洋プラスチックごみ問題解決に向け意見交換をする日ASEANオンラインシンポジウム「Marine Plastic Education Symposium(海洋プラスチック教育シンポジウム)」を、2022年2月2日(水)に開催します。

センターは、2020年より、日本およびASEAN加盟国政府の要請に基づき、G20や日アセアン首脳会合等の優先課題として取り上げられた海洋プラスチックごみ問題に専門的に取り組んでおります。2021年秋より、広島アセアン協会²との共催に基づき、広島県とASEAN加盟国の小学校と高等学校を対象に、日ASEANの学生が指導する海洋プラスチックごみに関するオンライン講義「広島アセアン・エコスクール³」を実施してきました。

本シンポジウムでは、講義を受けた学生たちが、将来の解決に向けたディスカッションを繰り広げる予定です。また、メンターとして、海洋プラスチック汚染の専門家として著名な、九州大学大気海洋環境研究センター 磯辺篤彦教授他、日本UNEP協会代表理事 鈴木基之氏、東京大学特任教授大学院新領域創成科学研究科 保坂直紀氏が参加予定です。

参加予定校: *参加校は随時追加される予定です。

- 広島県● なぎさ公園小学校(小学5年生、約70名が教室よりオンライン参加予定)
- 広島なぎさ高等学校(高校2年生、約30名が講堂よりオンライン参加予定)
 - 広島県立祇園北高等学校(自宅から代表生徒1名がオンライン参加予定)
 - 広島女学院高等学校(ビデオ録画参加予定)

ASEAN加盟国側

- Bishop Sofio Balce Memorial School および St. Francis of Assisi Diocesan School(フィリピン、約40名)
- 中村学校(インドネシア、ビデオ録画参加予定)
- 聖ニコラス高等学校(フィリピン、高校2・3年生、約30名)
- Valenzuela City School of Mathematics and Science(フィリピン、中学・高校生、約50名)

(参加者は、それぞれの学校または自宅からオンライン参加します。)

本シンポジウムは、事前登録をすることでYouTubeからの一般参加(視聴のみ)が可能です。

¹ ASEAN(東南アジア諸国連合)とは、1967年に結成された地域協力機構。加盟10カ国(ブルネイ・ダルサラーム、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)の総人口は6億5千万人を超える。

² <http://hiroshima-asean.org/>

³ センターが2020年度に実施した「未来のリーダー達による国際海洋プラスチックごみに対する日ASEAN協力宣言」プロジェクトで選ばれた「未来のリーダー達(日本とASEAN諸国の学部生・院生)」が自ら講師を務める授業。詳細: <https://www.asean.or.jp/ja/centre-wide/mpw/>

【シンポジウム概要】

1. 日時: 2022年2月2日(水)13時30分～15時30分

2. 場所: ZoomとYouTubeによるライブ放送(一般公開)

3. 出席者:

- 広島県とアセアンの小学生及び高校生
- 広島県とアセアンの学校の教員
- 本プログラムメンター
 - 鈴木基之 日本 UNEP 協会代表理事
 - 磯辺篤彦 九州大学大気海洋環境研究センター教授
 - 保坂直紀 東京大学特任教授大学院新領域創成科学研究科
- 本プログラムフェロー⁴約10名 他

4. 内容:

- ① 「海洋プラスチックごみ問題教育に関する広島アセアン・エコスクール(パイロットプログラム)」の紹介(日本アセアンセンター)
- ② 生徒からの発表と提言 — 学びと将来に向けて
- ③ 本プログラムメンターからの応援メッセージ
- ④ 教育者からのコメント
- ⑤ フェロー達からのコメント
- ⑥ Q&A / ディスカッション / 総括

プログラム詳細は別添をご参照ください。

5. 本国際オンラインシンポジウムの一般視聴用登録リンク

https://data.asean.or.jp/form/seminar/app_seminar.aspx?id=72325366

(開催2日前よりリンク提供。)

本件に関するお問い合わせ、また取材を希望されるメディアの方は、以下までご連絡下さい。

<取材時の注意事項>

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、学校の指示に従ってください。

<<国際機関日本アセアンセンター>> 正式名称: 東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター

ASEAN10 カ国政府と日本政府により1981年に設立。貿易・投資・観光・人物交流の4分野を軸に、ASEAN 諸国から日本への輸出の促進、日本とASEAN 諸国間の直接投資、観光及び人物交流の促進を通して、日本とASEAN 諸国との関係促進に貢献する国際機関です。

URL: <https://www.asean.or.jp/ja/>

<<本リリースについてのお問合せ>>

国際機関日本アセアンセンター 事務総長室・広報

東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル 1F

電話: 03-5402-8118 Fax: 03-5402-8003 E-mail: toiawase_ga@asean.or.jp

国際機関日本アセアンセンターは2021年5月で設立40周年を迎えました。



⁴ センターが2020年度に実施した「未来のリーダー達による国際海洋プラスチックごみに対する日ASEAN協力宣言」プロジェクトで選ばれた「未来のリーダー達(日本とASEAN 諸国の学部生・院生)」で、今年度「広島アセアン・エコスクール」で講義を担当した学生たち。

詳細: <https://www.asean.or.jp/ja/centre-wide/mpw/>

日 ASEAN オンライン・シンポジウムプログラム(2021年12月23日時点)

日時:2022年2月2日(水)13:30-15:30(日本時間)

会場:ZoomとYouTubeによるライブ配信

時間 (JST)	プログラム
13:30-13:32	日本アセアンセンターから 「海洋プラスチックごみ問題教育に関する広島アセアンエコスクール(パイロットプログラム)」の紹介
13:32-13:40	歓迎・開会のご挨拶 ASEAN 事務局及び広島県のリーダーからのビデオメッセージ(予定) スクリーンショット撮影
13:40-14:30 (50分)	生徒からの発表と提言 ― 学びと将来に向けて (15~16校程度) (*参加校は随時追加される予定です) <u>小学生によるプレゼンテーション</u> (各2~3分) <ul style="list-style-type: none"> ➢ なぎさ公園小学校(広島(日本)) ➢ Bishop Sofio Balce Memorial School および St. Francis of Assisi Diocesan School(フィリピン) ➢ 三原小学校(参加確認中) ➢ 中村学校(インドネシア)(ビデオメッセージ) <u>高校生によるプレゼンテーション</u> (各2~3分) <ul style="list-style-type: none"> ➢ 広島なぎさ高等学校(広島(日本)) ➢ 聖ニコラス高等学校(フィリピン) ➢ 広島県立祇園北高校(広島(日本))(参加確認中) ➢ 広島女学院高等学校(広島(日本))(ビデオメッセージ) ➢ 広島県立豊田高校(広島(日本))(参加確認中)
14:30-14:39 (9分)	本プログラムメンターからの応援メッセージ(各3分) <ul style="list-style-type: none"> - 鈴木基之 日本 UNEP 協会代表理事 - 磯辺篤彦 九州大学大気海洋環境研究センター教授 - 保坂直紀 東京大学特任教授大学院新領域創成科学研究科
14:39-14:54 (15分)	教育者からのコメント (各学校2分)(7校) (*参加校は随時追加される予定です) <ul style="list-style-type: none"> - Carmela Garma 先生と Ian Radge Melad 校長 (聖ニコラス高等学校、フィリピン) - Rey Sison スクールディレクター (BISHOP SOFIO BALCE MEMORIAL SCHOOL、フィリピン) - 畑中輝教頭 (広島なぎさ高等学校、広島(日本)) - 田中慎一郎教頭 (なぎさ公園小学校、広島(日本))

	<p><ビデオメッセージ></p> <ul style="list-style-type: none"> - 加藤弘輝先生 (広島女学院高等学校(日本))(参加確認中) - 松本隼人アカデミックディレクター、ハイルン先生 (中村学校(インドネシア))(参加確認中)
14:54-15:05 (11分)	<p>フェロー達(「広島アセアン・エコスクール」で講義を担当した学生)からのコメント(各1分)</p> <p style="text-align: right;">(*教育セッションを実施した順に追加される予定です)</p> <ul style="list-style-type: none"> - トラン・ティエン氏(Ms. Thuy Tien TRAN)(ベトナム) 京都大学大学院、環境マネジメント専攻 広島女学院高等学校での講義を担当 - 益田明奈氏(日本) 京都大学大学院、環境マネジメント専攻 広島県立豊田高等学校での講義を担当 - 藤川真知子氏(日本)(広島なぎさ高等学校卒業生) 早稲田大学創造理工学研究科、地球・環境資源理工学専攻、大気・水圏環境化学研究室 なぎさ公園小学校・広島なぎさ高等学校での講義を担当 - バレリー・コラレス氏(Ms.Valerie CORALES)(フィリピン) 九州大学大学院農学研究院、資源生物科学部門在籍、農業・資源経済専攻 聖ニコラス高等学校、Bishop Sofio Balce Memorial School(小学校)と St. Francis of Assisi Diocesan School(小学校)での講義を担当 - ヌルラティファさん(Ms. Nurlatifah)(インドネシア) 熊本大学大学院、理学部 中村学校(インドネシア小学校)での講義を担当
15:05-15:25 (20分)	<p>Q&A / ディスカッション / 総括</p> <p style="text-align: right;">(*上記の時間配分によって、時間が調整される予定です)</p>
15:25-15:30 (5分)	<p>閉会の辞</p> <p>日本アセアンセンター 事務総長 平林国彦(3分)</p> <p>スクリーンショット撮影</p>
15:30	終了